町報

第135号

発行所
宮崎県門川町
門川町役場
電話③1140番

印刷所
宮崎県門川町
工藤印刷
電話③1143番

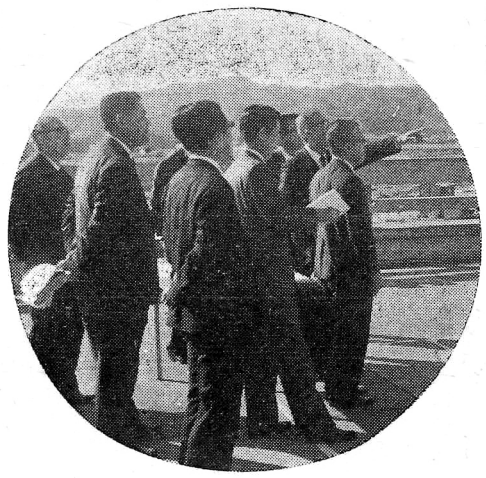
知事を囲む座談会

本町を取りまく諸問題県行政について

知事さん!! 明確に説明

知事は二月二十四日、午前九時来町し、役場屋上にて、町の実施している各事業（中須土地区画整理事業）について、町長の入念な説明を受け、門川漁協、牧山樹園地、老人ホーム等の現地を熱心に視察され、午後一時半より中央公民館にて座談会に出席されました。

座談会は、知事をはじめ県出納長（本町出身）各、県出先機関の所長、小野県議（地元県議）、町長、議長、町民約二百七十人が参加し、MRTの司会者の流暢な司会により、県政に関する問題及び、本町を取りまく諸問題、農林漁業、公害、都市行政、老人医療等問題について、町民の意見要望に対し、知事の明確な解答がありました。


町長の説明を受ける県知事

役場の課組織が変わりました

四月一日より

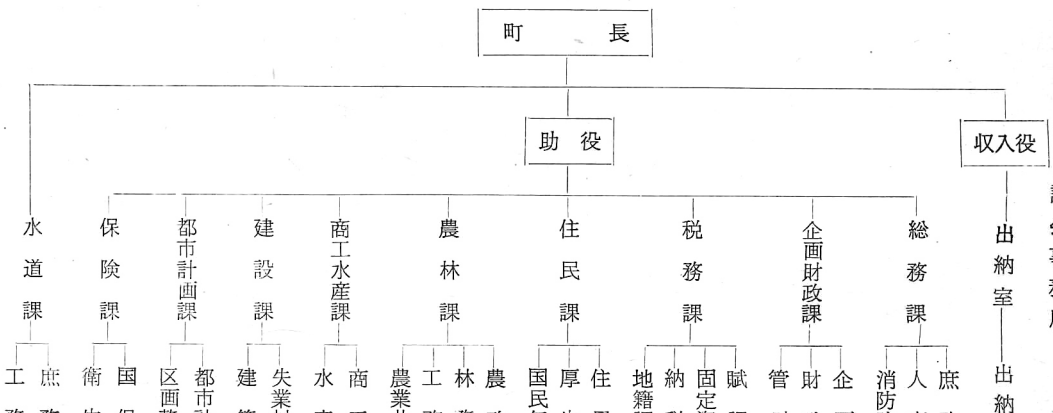
町の組織につきましては常に新しい時代の行政需要に即応し、住民の利便を基調としながら能率的な事務処理体制を確立するため、逐次改善を実施いたして参りました。

しかし改善されました現在の組織を、ここ一年間みてまいりますとその一部において住民の利便を阻害し行政サービスが充分満たされない、あるいは国、県である上部団体との流がうまく行ない等により、その機能が充分に発揮されていない面がありますので、これらの問題点をとらえましてその改善を図り執行機関としての機能が充分に発揮され、最も効率的な行政サービスを期したいと考えまして、次のように組織を改めました。

しかしながら、これらの組織内部の変化が、住民のための改悪とならないよう今後共に充分配意いたし、行政目的達成に努めたいと存じます。

尚本町の開発事業を合理的におしすすめるため、財団法人による開発公社を設立いたしました。

門川町行政機構図



機構改革による人事異動を四月一日付で次のように発令いたしました。

総務課長　藤崎　明
補佐　黒田　和弘
庶務係長　黒木　野治
企画財政課長　松井　初義
補佐　原田　一己
企画係長　永田　勝
管財係長　上岡　初夫
税務課長　岡田　生男
補佐　米良　育夫
賦課係長　水永　正人
固定資産係長　桜川　輝男
地籍調査係長　吉田　健利
徴収係長　本田　和己
住民課長　中田　誠一
補佐　出口　温喜
住民係長　日高雄一郎
厚生係長　松下　義勇
年金係長　河野　武
保険課長　金田　茂遠
補佐　小谷　朝夫
国保係長　浜本　功
農林課長　和泉　真盛
補佐　黒木　恵
林務係長　米良　俊幸
工務係長　寺原　達
農業共済係長　水永　常雄
商工水産課長　牧野　義博
補佐　内山　教彦
商工係長　佐竹　敏雄
建設課長　宮田　実郎
補佐　吉田　和雄
土木係長　宮原　重幸
都市計画課長　吉岡　成美
補佐　木下　寿
都市計画係長　山本　道彦
区画整理係長　酒井　宗男
水道課長　金丸　敏雄
補佐　山口　長
工務係長　金丸　定弘
中央保育園長　日吉茂十治
門川保育園長　安田　年美
草川保育園長　山下　源栄
五十鈴保育園長　堀川　昌隆
松寿園長　山田　信里
出納室長　奈須　清敏
議会事務局長　長友幸太郎
教育委員会課長　金丸　章
補佐　小林　敏明
学校教育係長　長渡　均
社会教育係長　金丸　一弘
財団法人門川町開発公社人事発令
開発公社局長　新庄　勝
次長　花岡　弘

募集!!

社会教育各学級生

あすをつくる人づくり運動

あすをきづく人づくり運動事業の一環として本年は中央公民館において左記学級、教室を計画しました。町民多数の方が参加され、自分の教養向上に、健康管理に、体力づくりに努めていただき、明るい家庭を、そして郷土づくりに励んでいただきたいと思います。

記

◎申し込み期間
昭和四十七年四月一日から四月二十日まで

◎申し込み先
門川町教育委員会、社会教育係

一、婦人学級（中央家庭教育学級）

◎目的
婦人を対象として、よき妻、よき母、よき社会人となるための知識教養を身につけさせる。

◎学習方法
(イ)毎月一回、年間八～十回程度継続して行なう
(ロ)年間六回以上出席された方に修了証を授与します。
(ハ)昼間に一日二時間程度講議を中心に、実習、実技等を行なう。

◎内容
(イ)婦人としての努め
(ロ)子どもの教育
(ハ)家庭の教育
(ニ)その他

◎講師
町内外の講師団より随時

◎募集人員
(イ)四十名
(ロ)定員に達し次第〆切ります。

二、栄養学級

◎目的
婦人に栄養知識の向上と健康管理の改善をはかる

◎学習方法
(イ)毎月一回、年間八～十回程度継続して行なう
(ロ)年間六回以上出席された方に修了証を授与します。
(ハ)午前中、料理実習、午後栄養について講議

◎内容
(イ)基礎科
初歩的な料理実習及び健康について
(ロ)研究科
病気に対する料理、実習及び病気について

◎講師
日向保健所、栄養士

◎募集人員
(イ)基礎科（初めて栄養学級にはいられる方）六十名
(ロ)研究科（基礎学級を修了された方）四十名
(ハ)定員に達し次第〆切ります。

三、婦人スポーツ教室

◎目的
健康で明るい家庭を築くために婦人を対象に強い体力づくりを行なう。

◎学習方法
(イ)毎週一回、昼間と夜間隔週ごとに行ないます
(ロ)年間十二回以上出席された方に修了証を授与します。
(ハ)昼間部、午後一時頃、夜間部、午後七時頃よりいずれも一日三時間程度

◎内容
(イ)実技（柔軟体操、バレーボール、ゲーム、山登、その他）
(ロ)講議（健康管理、その他）

◎講師
教育委員会社会体育係

◎募集人員
(イ)昼間部　三十名
(ロ)夜間部　三十名
定員に達し次第〆切ります。

四、中央青年教室

◎目的
在町青年に、青年としての教養と職業を身につけさせる。

◎学習方法
(イ)毎月二回年間一四～一六回程度継続して行なう。
(ロ)年間十回以上出席された方に修了証を授与します。
(ハ)夜間部として七時三十分頃より実施します。

◎内容
(イ)一般教養、職業、家事その他
(ロ)保健体育（バレーボール、レクリエーションその他）
(ハ)他市町村学級生との交換会

◎講師
町内外講師団より随時

◎募集人員
三十名
定員に達し次第〆切ります。

尚、このことについての問合せは教育委員会社会教育係まで!!

【し尿】汲取料金の改定について

現在の汲取料金は昭和四十三年し尿処理施設の完成と同時に議会のご賛同を得て決定されたのでありますが当時に於て県下の最低でありその後各関係町村に於ては逐次値上げを実施されつつある中で門川町は現在まで約四年間据置のままでその間人件費及物価の上昇等を考えある程度の値上げは止むを得ないと思い反面受益町民の皆様の負担を併せ左記の通り議会の賛同を得まして決定いたしましたので町民の皆様には事情ご理解の上よろしくご協力頂きますようお願い申し上げます。

時期　四十七年四月一日より
金額　10ℓにつき十七円

家族保険新加入運動　4～7月

1枚の証書で

家族みんなの保障が買える

郵便局の簡易保険

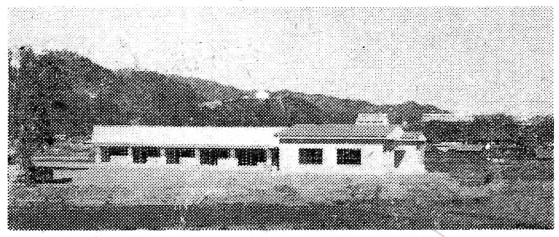
ご存知ですか？　こんなすばらしい保険が郵便局で発売されています
現代は交通戦争の時代
ご家族の保障の第一歩を、この家族保険でお求めになつては……
詳しくは郵便局から伺いますのでおたずね下さい。

完成!!

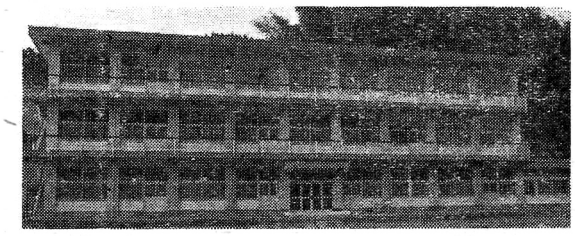
五十鈴保育園　西門小校舎

昭和三十四年に開園した土橋の五十鈴保育園は、施設の老杯化と入所措置児童の増加に伴つて改築工事を行なつておりましたが、このほど完成し、四月から開園することとなりました。

施設は本村（元大将軍神社跡）の敷地二、〇六九平方メートルに鉄筋コンクリート造り、延面積四五〇平方メートルの建物を建設し収容人員一二〇人をもつて開園します。



昨年九月十三日着工しました西門川小学校の改築工事工事費四千百八拾万円で鉄筋三階建延面積一、一六〇平方米、普通教室六教室に理科、音楽、技術の特別教室三教室備えた近代的な校舎が三月十日完成いたしました。



交通ルールを守ろう

春の全国交通安全運動

この運動は歩行者、運転者、運転者の雇主、その他陸上交通に関係のあるすべての者に交通安全思想の周知徹底をはかり、正しい交通ルールの実践を習慣づけ交通事故防止の徹底をはかることを目的とします。

一、期　間

四月六日から四月十五日までの十日間

二、重点目標

歩行者事故中老人、身体障害者等は勿論、とくに今回は年少者の事故の増加に鑑み新入学児童、園児および幼児の事故防止に重点をおいて実施いたします。

三、運動のすすめ方

この運動を実施するにあたり各関係者においては左記により実情にそつて対策を講じ事故防止の為に万全を期せられますようお願い申し上げます。

○町に於て実施する事項

(1)安全対策協議会を開催し全般的対策の検討を行なう

(2)広報活動の推進
イ町内パレードの実施
ロ町報による啓蒙
ハ広報車による広報宣伝
ニ交通安全旗を十号線の要所に立てる

(3)交通環境の整備
イ新入生安全の日の設定
ロ地区内危険ケ所の点検

(4)交通安全知識の普及
イ町内学校、幼稚園保育所に安全教育の指導徹底をはかる
ロ交通安全宣言部落設置の推進をはかる

(5)街頭指導の実施
町内南町交叉点、上ノ町十字路、宮銀前、本町踏切、駅前、江川石油店前、海水浴場入口上井野学校入口に関係機関団体の役職員による期間中の街頭指導を行う

○学校等に於て実施する事項

イ自転車の点検整備を行い正しい乗り方の指導を行う
ロ校外活動の中で道路その他危険ケ所での遊びの指導
ハ入学式又はその前後に新入生と父兄の合同安全教室の開催

○家庭に於て実施する事項

イ小さい子供を道路上、その他危険なケ所で遊ばせない
ロ外出等の場合、小さい子供の一人歩きを止め必ず手を引いて歩くよう習慣づける
ハ親子会、老人クラブ等を中心に部落ぐるみの安全宣言部落を設置するよう強力に　する

○事業所に於て実施する事項

イ車輌の点検整備の励行と運転管理及安全運転の適正をはかる
ロ踏切その他における一時停止と安全確認は他にまかせず運転者自身の目と耳で行うよう指導する
ハ腕章、三角旗等の着用を行う

○四月十二日を新入生安全の日とし通勤者等は一日マイカーを利用せず徒歩又はその他の機関を利用して通勤するよう努める

少年たちを健やかに育てよう

3、4月は卒業、進学、就職と、少年たちにとつては期待や、不安などから動揺しやすい時期で、ちよつとした動機で、非行に走つたり、家出をする少年もふえています。そこで各家庭、学校はもちろん、これら少年をとりまく、地域社会の人たちが、少年の気持ちを理解し、すべての少年を非行から守り、**愛の一声運動**で健やかに育て、見守つてやりたいものです。

そのために次のことに注意いたしましよう。

◎ **過剰の期待に子どもは押しつぶされる。**
子供の能力以上の期待や、世間体に、気をかけないで、子供の特性をよく見きわめ、進学、就職先を決めてやりたいものです。

◎ **気のゆるみが災をまねく。**
進学、就職等が決定すると、親も子どもも安心して、親も子どもの行動を、おお目に見がちです。この気のゆるみから、子供たちの非行化する例の多いことを忘れてはなりません。

◎ **失敗は成功のもと、さらに努力を。**
入学試験や就職試験に失敗したとき、子供の受ける精神的ショツクは大きいものです。ぐちをこぼさず、家族全員が、あたたかく慰め、励ましてやることが大切なことです。

◎ **未成年者の酒、たばこの害毒が大きい。**
卒業、就職祝等で、酒やビールを飲んで補導される少年があとをたちません。20歳未満の少年の飲酒喫煙は法律で禁止されています。家庭はもちろん、旅館、飲食店等各営業者の方は、少年に酒類を促供したり、販売をしないでください。

◎ **所持品には注意が大切。**
進学、就職準備のため、衣類や、カメラなど身まわり品のほしさから、盗みなどの非行にはしる少年もいます。保護者の方は、少年の所持品については十分気を配つて下さい。

◎ **親と子の対話を積極的に。**
親、子の断絶、意見の違いから、家出する少年が多くなるのもこの時期です。このことは、相互の無理解が大きな原因となつていますので、親と子がなんでも話し合える場が必要です。

◎ **ボンド等、接着剤遊びの追放はおとなの責任。**
シンナー、ボンド乱用少年が激増しています。ボンド等を吸引すると、呼吸器や胃腸、肝ぞうがおかされ、ときには精神障害、死亡など、悲しい結果をまねくことになります。ボンド等有害性を再認識するとともに、子供の交友関係、所持品等については、おとなの責任といえます。

健康診断を受けましよう

〝結核について〟

結核の問題はもう片づいてしまつたと、考える人が多くなつてきているのではないかと思います。

ご存知のように、確かに結核の死亡率は、医学の進歩に伴ない世界的に減少していることは喜ばしいことです。

しかし、我国の結核死亡率は、諸外国にくらべると約十数年おくれているといわれています。

その中で九州地区は、日本でも最高の死亡率を続けているということです。

一方、患者数の方は、死亡率とは反対にすこしも減つてはおらず、ここ数年間は横ばい状態になつています

昔から、結核に効く薬を探し求めてきましたが、昭和十八年にストマイという結核の特効薬が発見されていらい、今日まで十三種類の薬が製造されましたが、結核の化学療法剤を数多く使用していると、結核は、だんだんと、その薬に低抗力をもつようになり、効き目がなくなつてきて、耐性菌が増えていく状態になつていきます。

結核の初期に、適切な化学療法をやらないと、今いつたような治りにくくなつてしまうということです。

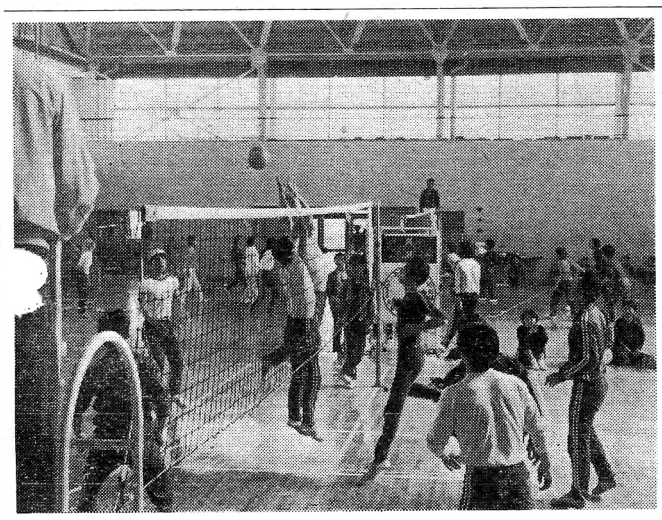
また、この様な耐性結核菌に感染してかかつた結核は、初めから治療ができないため、結核患者数が横ばい状態になつているという原因です。

病気をなくすには、早期発見、早期治療が原則ですが、とくに結核において一番大切なことです。

!!定期的な健康診断を受け結核をなくそうではありませんか!!

地域別対抗バレー大会

門川（男子）五十鈴（女子）優勝



門川町民が一同に集つてスポーツを楽しみ、町民の親睦、融和と健康増進のための体力づくりを行なおうと、第四回地域別バレーボール大会が去る三月二十六日、門川農高体育館において、男女各五チームが参加し盛大に開催されました。成績は次のとおりです。

男子の部

一位　門川分団
二位　五十鈴分団
三位　尾末分団

女子の部

一位　五十鈴分団
二位　西門川分団
三位　尾末分団

戸籍の窓

出生おめでとう

子の氏名	父の名	住所
浜口　伸子	高章	東栄町
福田　洋	松治	上納屋
工藤美奈子	剛	東栄町
橋本佳奈美	福男	東栄町
曽根田浩司	武正	庵川東
奈須　元美	勇	西栄町
甲斐　照乃	頼恵	庵川西
児玉　幸一	幸雄	中尾
金丸　珠美	菊夫	中尾
小野　能一	一紘	本町
日吉　誠	透	加草
金丸　理恵	福幸	五十鈴
牧野　幸美	幸信	牧山
矢野　光子	義広	中尾
奈須美佐子	定夫	竹名
大田　雅美	志司	庵川西
浜田麻里子	高一	加草
玉井　秀佳	政博	東栄町
原田佳奈子	定幸	栄ケ丘
金丸美由紀	洋一	上井野

ご結婚おめでとう

倉澤　吉野スマ子	裕一	上納屋 別府市
黒木　新田	隆晴	上井野
今橋　黒田	郁子	松瀬
矢野　日高	正俊	中尾 下納屋
松川　小谷	良子	北川村 三ケ瀬
染田　甲斐ミチ子	哲郎	松瀬 三ケ瀬
染田　川崎千賀子	富枝	加草 椎葉村
神戸　野別雜久子	勇	上納屋 中村
日高　本田ちか子	巧	中尾 日向市
菊池　林とし子	照利	青森市 三ケ瀬
松山　黒木	誠	加草
	学	日向市 中尾
	光明	
	良子	

ごめい福祈る

死亡者氏名	年令	住所
道脇　佐七	80	西栄町
請関常太郎	87	加草
中田　仙治	72	東栄町
池田　ゲン	82	南町
浜田トシエ	70	西栄町
柴田ルイ子	42	加草
黒木　岩見	46	加草
浜田　糸吉	86	本町

香典返しお礼

本町　故浜田糸吉殿
上の町　故金丸金重殿
小園　故安田トラ殿
上の町　故水永キクエ殿
特別養護老人ホーム
故池田ゲン殿

右の方々には、不幸にして、ご逝去なされ、喪主の方より香典返しとして、金一封を社会福祉事業にと、ご寄贈いただきました。

ここに厚くお礼申し上げますと共に、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます

尚使途につきましては、その主旨にそいまして、社会福祉事業に活用させて、頂きたいと存じます。

一金五千円　田中　清殿
一金参万円　金丸須磨子殿
一金壱万円　安田年美殿
一金壱万円　水永文男殿
一金弐千円　池田柳吉殿

社会福祉法人
門川町社会福祉協議会

3月1日現在

世帯数	人口 男	人口 女	計
4.057	7.536	8.282	15.818
(4.039)	(7.503)	(8.247)	(15.750)

(　)内は前月です